

いせ



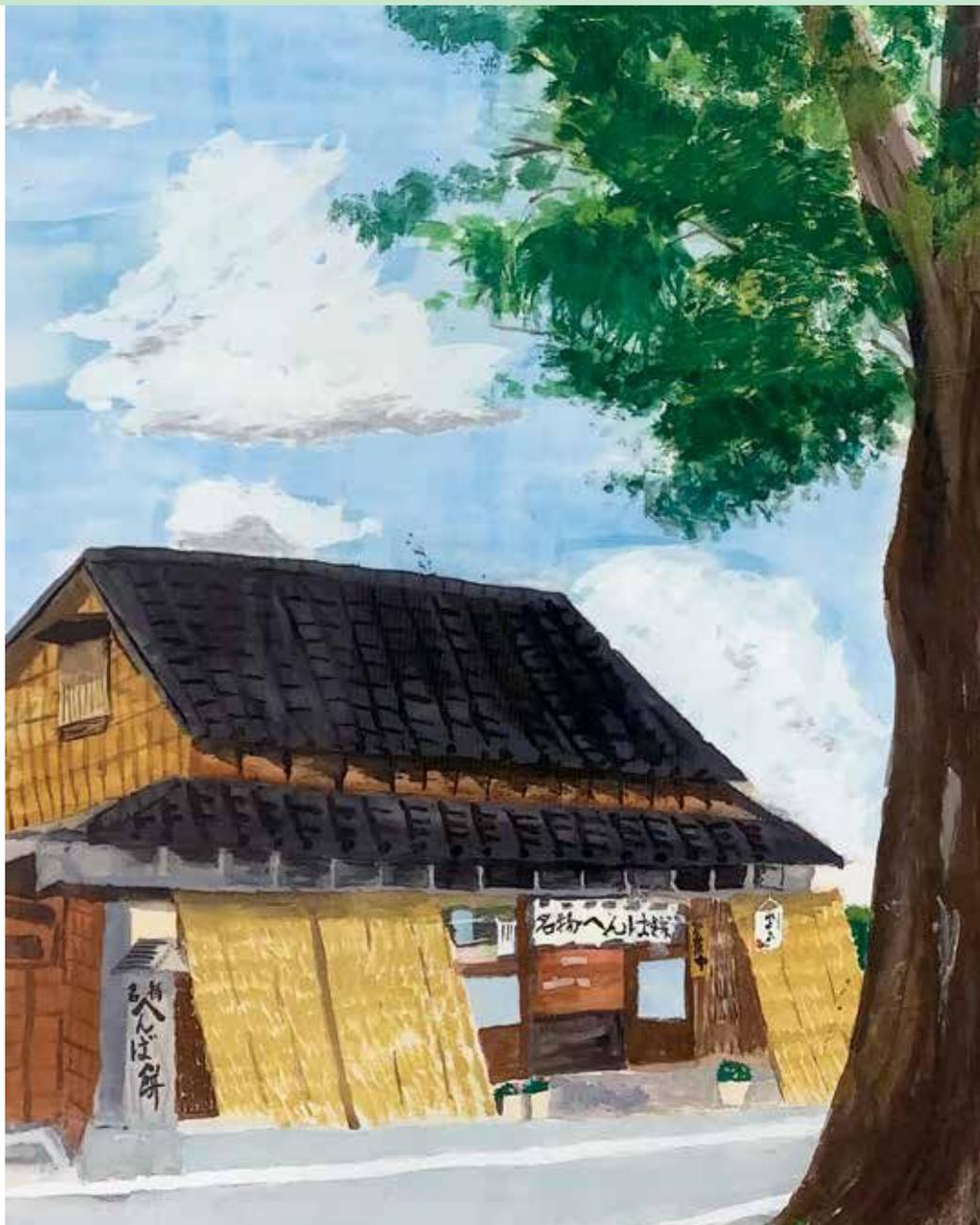
第76号

令和6年9月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報広聴検討分科会

市議会だより

題字 みなと小学校6年 坂田 莉彩 さん



主な記事

6月定例会の概要	2～3ページ
宮川橋橋梁架替事業	4～5ページ
市政を問う（一般質問）	6～9ページ
政務活動費収支報告	12ページ
常任委員会行政視察報告	14～15ページ

「へんばや本店」 場所：小俣町

令和5年度伊勢市の景観絵画コンクールより
最優秀賞（中学年の部）
小俣小学校5年 ^{はやし}林 ^{かな}環奈さん
の作品を採用しました。
(小学校4年生の時に描いたものです。)

令和6年 6月定例会

宮川橋橋梁架替事業に関する 追認議案などを可決

6月定例会の概要

令和6年6月市議会定例会を、6月17日から7月3日までの17日間の会期で開催しました。

今定例会では、令和6年度補正予算をはじめとする25議案が提出され、本会議、各常任委員会において慎重に審議した結果、各議案を原案どおり可決・承認、発議1件を可決しました。

また、6月24日および25日の本会議では、7人の議員が一般質問を行いました。

6月定例会の議決結果は3ページ、一般質問の詳細は6〜9ページをご覧ください。



本会議の様子（6月17日）

6月定例会日程

- 6月17日。本会議（議案の提案説明等）
- 24日。議会運営委員会。本会議（委員会審査付託・議案採決・一般質問）
- 25日。本会議（一般質問）
- 27日。産業建設委員会。総務政策委員会
- 28日。教育民生委員会
- 7月1日。総務政策委員会
- 3日。議会運営委員会。本会議（議案採決等）

審議した主な議案の内容

令和6年度補正予算

令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第1号）
13億2988万6千円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した低所得者支援および定額減税補足給付金事業に要する経費について、補正するもの。

その他

小型動力ポンプ付積載車の取得
2222万円

老朽化のため、新たに小型動力ポンプ付積載車2台を購入するもの。

主な装備として、小型動力ポンプや火災等に対応できる各種資機材を備え付ける。

高規格救急自動車の取得
1963万5千円

老朽化のため、新たに高規格救急自動車1台を購入するもの。

市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業の協定（追認）

市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業の協定の変更（追認）

市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業（令和4年度）令和5年度橋梁架替（下部工）工事（P1・P2橋脚）の受託事業契約（追認）

市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業（令和5年度）令和7年度橋梁架替（下部工）工事（P3・P5橋脚）の受託事業契約（追認）

市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業（令和5年度）令和7年度橋梁架替（下部工）工事（P3・P5橋脚）の受託事業契約の変更（追認）

宮川橋橋梁架替事業に関する内容は4〜5ページに特集記事を掲載しています。

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

今回審議した案件は、全て全会一致となりました。

〔議案〕

議案番号	案件名	議案番号	案件名
62	専決事項の承認を求めること（令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第1号））	75	事務用パソコンの取得
63	専決事項の承認を求めること（伊勢市市税条例の一部改正）	76	校務用コンピュータ機器の取得
64	専決事項の承認を求めること（伊勢市都市計画税条例の一部改正）	77	小型動力ポンプ付積載車の取得
65	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第2号）	78	高規格救急自動車の取得
66	令和6年度伊勢市一般会計補正予算（第3号）	79	財産の無償貸付
67	伊勢市附属機関条例の一部改正	80	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業の協定（追認）
68	伊勢市子ども・子育て会議条例の一部改正	81	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業の協定の変更（追認）
69	伊勢市市税条例の一部改正	82	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業【令和4年度～令和5年度橋梁架替（下部工）工事（P1・P2橋脚）】の受託事業契約（追認）
70	伊勢市都市計画税条例の一部改正	83	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業【令和5年度～令和7年度橋梁架替（下部工）工事（P3～P5橋脚）】の受託事業契約（追認）
71	伊勢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	84	市道高向小俣線（宮川橋）橋梁架替事業【令和5年度～令和7年度橋梁架替（下部工）工事（P3～P5橋脚）】の受託事業契約の変更（追認）
72	伊勢市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正	85	市道の路線の認定
73	伊勢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正	86	字の区域の変更
74	三重南消防通信指令事務協議会の設置		

〔発議〕

4	防災・減災、国土強靱化対策の拡充を求める意見書の提出
---	----------------------------

「議会ツアー」に参加してみませんか!?

お申込みは
こちら



「議会って何してるよとこなん？」の声に応えるために、議員と議会事務局職員が議会の役割や仕組み等をわかりやすく説明する「議会ツアー」を実施しています。

令和6年度の実施状況（令和6年7月現在）

- ・中島小学校
- ・修道小学校
- ・明倫小学校
- ・四郷小学校
- ・厚生小学校
- ・佐八小学校
- ・小俣町南本町清和会



○×クイズ

議場での説明

6月定例会で審査

宮川橋橋梁架替事業

事業に関する問い合わせ先

基盤整備課 (TEL 21-5587 FAX 050-1704-1924)

【整備箇所】



これにより、県道鳥羽松阪線の渋滞緩和、また、宮川左岸と右岸地域の生活圏を結ぶ交流軸や地域の安心につながる機能を担う道路として、交通の円滑化や道路環境の改善が図られます。

この橋を含めた道路を「市道高向小俣線ほか1線（距離1.6km）」として整備することとしています。

概要

現在、伊勢市では老朽化が著しい宮川橋の架替事業を行っています。

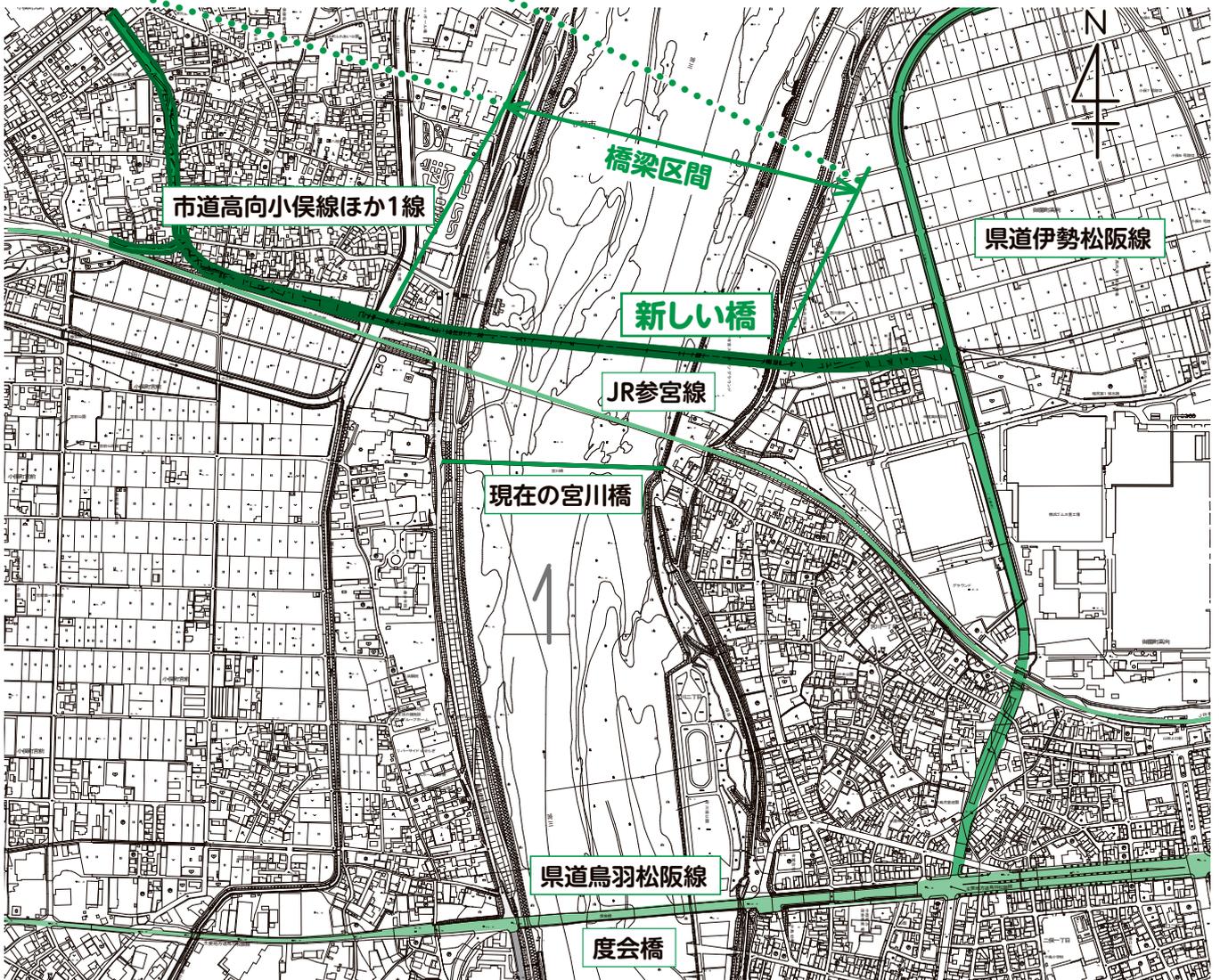
橋梁の設置位置の関係上、

同じ場所への架け替えが困難であるため、約200m

下流に新たな橋梁を設置し、

この橋を含めた道路を「市道高向小俣線ほか1線（距離1.6km）」として整備することとしています。

こととしています。



三重県へ事業を委託

宮川橋の架け替えには専門的な知識と経験が必要であるため、市は実績のある三重県と橋梁架替事業の協定、また、これに基づく橋梁の下部工事の受託事業契約を締結し、これまで事業を進めてきました。
(協定および契約の締結状況は下表を参照)

協定・契約を議会の議決を経ずに締結

地方自治法^{※1}および市条例の規定では、議決が必要な基準を「契約金額が1億5千万円以上の工事または製造の請負」と規定しています。

今回締結した協定・契約の内容は事業の委託となっており、市は法令の解釈を誤り、この内容が工事の請負に該当しないと判断し、議会の議決を経るという所定の手続きを行っていませんでした。

このため、6月定例会でそれぞれの協定・契約において、追認を求める議案(左表⑤を除く)が提出されたものです。

(※1) 地方自治法第96条第1項第5号および伊勢市議会^{※2}の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条

【協定および契約の締結状況】

締結日	協定書および契約書	概要	協定額および契約額
① 令和2年3月23日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業の協定	橋梁上部工事、橋梁下部工事、橋梁詳細設計、地質調査	約43億円
② 令和4年9月14日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業の協定の変更	(①の協定変更) 橋梁詳細設計の結果、橋脚の基礎工法などを変更したことによる事業期間の延長と事業費の増額	(変更後) 約86億円
③ 令和4年9月15日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業【令和4年度～令和5年度橋梁架替(下部工)工事(P1・P2橋脚)】の受託事業契約	橋脚2基(P1、P2)の工事、現場技術業務、単価契約図面作成	2億6,402万6,400円
④ 令和5年4月3日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業【令和5年度～令和7年度橋梁架替(下部工)工事(P3～P5橋脚)】の受託事業契約	橋脚3基(P3～P5)の工事、現場技術業務、単価契約図面作成、工事積算	30億7,000万円
⑤ 令和5年9月11日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業【令和4年度～令和5年度橋梁架替(下部工)工事(P1・P2橋脚)】の受託事業契約の変更	(③の契約変更) 入札結果による事業費の減額	(変更後) 2億6,015万8,141円
⑥ 令和6年3月25日	市道高向小俣線(宮川橋)橋梁架替事業【令和5年度～令和7年度橋梁架替(下部工)工事(P3～P5橋脚)】の受託事業契約の変更	(④の契約変更) 仮設の盛土材について、河川内で採取した土の使用が可能となり、土の購入が不要となったことによる事業費の減額	(変更後) 24億円

議員から厳しい意見

定例会に先立ち、6月10日に開会された全員協議会において冒頭市長が、このような事態を招いたことに対して陳謝しました。

議員からは、事業は既に始まっており、粛々と進めなければならぬ手続きではあるものの「なぜ今まで分からなかったのか」「結果的に議会を軽視する形になってしまった」「叱りおきたい」などの厳しい意見や「今後の事務のチェック体制はどうしていくのか」など、市への改善を求める意見がありました。

追認議案の審議

追認議案は6月24日、審査を付託された産業建設委員会において慎重に審査が行われ、全会一致で可決すべしと決定されました。その後、本会議において全会一致で可決されました。

なお、上表⑤の契約変更については、事業費の変更額が変更前の5%以内であ

ることから、地方自治法の規定により専決処分^{※3}が行われ、7月3日の定例会最終日に議会へ報告されました。

(※2) 地方自治法第180条第1項
(※3) 議会が議決すべき事項を地方公共団体の長が代わって処分すること

事業の進捗状況

令和5年度で橋脚10基のうち2基が完成し、現在3～5基目の橋脚を築造しています。令和14年度の供用開始に向け、引き続き事業が進められます。

なお、現在の宮川橋は供用開始後、撤去されます。



完成した2基の橋脚

市政を問う

各議員の掲載記事欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取るとその議員の動画が視聴できます。

7人の議員が質問

6月24日

中村 功	6 ページ
川口 浩	7 ページ
三野 泰嗣	7 ページ
野崎 隆太	8 ページ

6月25日

上村 和生	8 ページ
吉井 詩子	9 ページ
楠木 宏彦	9 ページ

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること



なかむら いさお
中村 功

有害鳥獣（サル）被害対策について問う

動画はこちらから



一般質問

(絆)

答 目撃情報アプリを活用する等地域ぐるみでの対策を進める

- 問** サル対策の現状は。
- 答** 花火による追い払いを行っている。また、市内2か所にサル用の大型捕獲おりを設置している。
- 問** サルの生息数の把握は。
- 答** 2つの群れは確認しているが、頭数までは把握していない。
- 問** 人的被害はあるのか。
- 答** 人的被害の報告は受けていない。子どもたちには、サルが出没した際に学校から注意喚起を行い、保護者には必要に応じて、メール等で情報提供している。
- 問** サルが増えている原因はなにか。
- 答** 容易に手に入る食べ物がある等、サルにとって自由に行動できる環境になってきたことと考えている。
- 問** 対策を講じるには生息数を把握すべきと考えるが。
- 答** 行動範囲等を把握できるように、生息数調査を進めていく。
- 問** 花火による追い払いは、効果があるのか。
- 答** 効果はあるが、局所的
- 問** 大型捕獲おりの増設の考えはないか。
- 答** 地元や猟友会等関係者の方々と相談しながら、検討していきたい。
- 問** ドローンの活用について
- 答** ドローン活用の現状は、消防本部において、火災調査や水難救助活動で情報収集を行うため活用している。
- 問** 行政課題解決に向けた今後のドローン活用の取り組みは。
- 答** 職員が学習する機会を設け、また先進事例の情報収集等に努め、活用について研究する。



捕獲おりによるサル対策

一般質問



かわぐち ひろし
川口 浩

(日本共産党)

※ピーファス
水道水からP F A Sが継続して検出されて
いるが対応は

答 数値の高い水源は検査頻度を3カ月に1回程度に増やす

動画はこちらから



問 小俣配水場系統の宮前第2水源(原水)の検出値推移について市の認識は。

答 P F O S、P F O Aの合計値で、令和5年10月が1リットル当たり20・4ナノグラム、令和6年2月が同18・9ナノグラム、4月が同24・0ナノグラムだった。国の暫定目標値である同50ナノグラムを下回っているが、他の水源と比べ数値が高いことから、検査回数を増やすなど注視していく。

問 米環境保護庁が4月に公表した新規規制値は、P F O S、P F O Aがそれぞれ同4ナノグラムである。小俣配水場系統の検出値はこの規制値を超えているが、どう受け止めるか。

答 日本においても今後同様の動きがあると考えている。国の方針に適切に対応し、安全・安心な水道水の供給に努める。

問 P F A S排出源を推定するため、河川、地下水の水質検査が一層必要になっていると考えるがどうか。



答 国・県が宮川、勢田川、五十鈴川、外城田川の4河川で、6月と12月に検査を実施する。

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)」の4月施行に伴う市の対応について

問 ドメスティックバイオレンス(DV)、性暴力、家庭関係の破綻などに苦しむ女性を支援するため、国は市町村に基本計画策定の努力義務を課したが、どう取り組むか。

答 国・県の基本方針、基本計画を踏まえ、今後策定を検討していく。

一般質問



さんの やすつぐ
三野 泰嗣

(勢風会)

市内小学校における複式学級の現状について伺いたい

答 今年度、市内小学校では、佐八小学校で1学級、豊浜東小学校で2学級実施している

動画はこちらから



問 複式学級の課題について、どのように認識しているのか。

答 子どもたちが切磋琢磨する機会が少ないことがあげられる。そのために、自主的に学習を進められる力を育てることが必要だと考えている。

問 教師に対する支援策についての取り組みを聞きたい。

答 非常勤講師や学習指導員等を配置することで、きめ細かな教育を進めている。

問 保護者や地域との連携の現状について伺いたい。

答 複式学級についての情報を積極的に発信し、授業の様子を実際に参観してもらっている。

問 今後の方針について、どのように考えているのか。

答 複式学級の指導法について学校内外で研修を重ね、教員の授業改善やスキルアップを図るとともに、家庭や地域と一体となった教育活動を推進していく。

人口流出の課題に対するI T企業の誘致について

問 現在の人口動態について、特に若者の流出に関する具体的な数字や傾向を伺いたい。

答 令和5年においては、20歳から24歳の区分において、291人の転出超過となっている。

問 若者が伊勢で働き続けるために、どのような施策を考えているのか。

答 仕事体験イベントやインターンシップ促進事業のほか、創業の支援など、様々な場面での支援事業を実施している。

問 I T企業が伊勢市に拠点を設けるために、どのような戦略を立てているか。

答 I T企業の誘致は、本市においても利点が見込めることから、さらに検討を進めていきたい。



※P F A S…有機フッ素化合物の総称で、水や油を弾き、熱や薬品に強い化学的性質がある。特にP F O S (ペルフルオロオクタンサルホン酸)、P F O A (ペルフルオロオクタン酸) が幅広い分野で大量に使われてきた。

一般質問



のざき りゅうた
野崎 隆太

(自由民主党)

今年度実施される教科書採択について、
選定の方法の詳細を聞きたい

動画は
こちらから



答 1市4町で伊勢度会採択地区協議会を設け、調査員が
検討、協議会で審議し、各教育委員会にて採択となる

問 教科書採択における南勢地区から東紀州の地区割りは、伊勢・度会、鳥羽・志摩、尾鷲、熊野と、4つある。人口比ではバランスが悪いと感じる。伊勢市教育委員会から提案し、県に地区割りを変更していただくことは制度上可能か。

答 制度としては可能である。

問 伊勢度会採択地区協議会での採択は、南勢地区で見れば不均衡であり、平成24年に提出された公開質問状の中では単独での採択を望むというような形で質問が出ていた。単独でも十分な人口や学校数があることから、より伊勢市民もしくは伊勢市教育委員会の意見が反映される形として、単独での採択とする方がよいのではないか。

答 市の意向としては、様々な考え方があるかと思われるが、最終的には三重県教育委員会の判断になる。

問 歴史の授業の中で、伊勢が関係する事柄について学ぶことの重要性について、



教科書見本展示

どのようになっているか。

答 歴史を学ぶ中で、伊勢市の具体的な事柄との関わりを通じて伊勢市への関心を高め、我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めることが重要であると考えている。

問 教科書採択基準はあると思うが、伊勢市をより取り上げている教科書については加点をされるべきというのが、伊勢市民としては自然な感情ではないかと考えている。全ての教科書が検定に合格しているという前提ならそういった加点方法も1つではないか。

答 次回の教科書採択に向け、研究していきたい。

一般質問



うえむら かずお
上村 和生

(新政いせ)

火災時の人的被害を減少させるには

動画は
こちらから



答 他部門と連携して火災予防に努める

問 伊勢市内の火災による人的被害の状況を聞きたい。

答 令和5年においては死者0人・負傷者1人であった。令和6年（6月25日現在）においては死者4人・負傷者2人となっている。

問 伊勢市内における火災での人的被害には、火災の種類や年齢等の特徴があるのか聞きたい。

答 令和6年の状況は、死者4人全てが住宅火災によるものであり、一人暮らしの高齢者が多い傾向にある。

問 住宅における火災報知器設置の有無による火災被害状況の違いについての認識を聞きたい。

答 火災報知器が設置されている場合には、死者数・焼失面積等が概ね半減するとされており、被害の軽減につながるかと認識している。

問 住宅への火災報知器設置が義務化されてから16年が経過する。火災報知器の交換目安は10年とされていることや、電池切れ等での作動不良も考えられる。



火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する

今後、どのような対策を実施していくのか聞きたい。

答 市民に対して、各種イベントおよびSNS等にて啓発に努める。

問 火災による人的被害の発生が多いとされる高齢者に対して、的を絞った火災報知器設置PR等の対策が必要ではないか。

答 福祉部門等の関係部局と連携強化し、火災予防対策を進める。

その他の質問
・小学校における教科担任制について

一般質問



よしい うたこ
吉井 詩子

(公明党)

子どものネット依存の現状について調査しているか

答 該当する調査はしていない

動画は
こちらから



問 ゲーム行動症のチェックリストを含んだアンケート調査をしてはどうか。

答 今後、検討したい。

問 ネットに関するトラブルで事件にまで発展する事例が増えている。加害者にも被害者にもならない子どもたちを守るには情報モラル教育の強化、啓発が大事である。どのような取り組みをしていくのか。

答 学校、地域からの要請に応じてICTアドバイザー等による情報モラル講座を実施している。また道徳教育や人権教育の中でも理解を深める取り組みをしている。

問 ネットにおける課題について、親子だけでなく子ども同士でも話し合う機会が必要である。そのような機会を増やせないか。

答 危険との隣り合わせという部分も認識したうえで活用しなければならぬ。必要であれば今後検討していきたい。



問 ゲーム行動症のチェックリストを含んだアンケート調査をしてはどうか。

答 今後、検討したい。

問 ネットに関するトラブルで事件にまで発展する事例が増えている。加害者にも被害者にもならない子どもたちを守るには情報モラル教育の強化、啓発が大事である。どのような取り組みをしていくのか。

答 学校、地域からの要請に応じてICTアドバイザー等による情報モラル講座を実施している。また道徳教育や人権教育の中でも理解を深める取り組みをしている。

問 ネットにおける課題について、親子だけでなく子ども同士でも話し合う機会が必要である。そのような機会を増やせないか。

答 危険との隣り合わせという部分も認識したうえで活用しなければならぬ。必要であれば今後検討していきたい。

問 ネットにおける課題について、親子だけでなく子ども同士でも話し合う機会が必要である。そのような機会を増やせないか。

答 危険との隣り合わせという部分も認識したうえで活用しなければならぬ。必要であれば今後検討していきたい。

一般質問



くすき ひろひこ
楠木 宏彦

(日本共産党)

マイナンバーカードと健康保険証との紐づけの現状は

答 マイナンバーカード交付率は約78%、保険資格との紐づけは約61%、保険証としての利用割合は約9%である

動画は
こちらから



問 マイナンバーカードを持っていない人や健康保険証と紐づけしていない人はどうするのか。

答 申請していただくことなく資格確認書を交付する。

問 「こどもまんなか実行計画2024」の推進についてこの部署か。

答 主に健康福祉部と教育委員会が連携して担当しているが、庁内会議を設置し、アンケート調査の検討をしている。

問 策定のスケジュールについて聞きたい。

答 10月には素案を作成し、議会に報告、年末にパブリックコメントを実施する。

問 子どもの貧困の状況は。

答 就学前と小学生の保護者へのアンケートでは、1日3食食べられなかった家庭が約1%、ひとり親家庭では約7%。服や靴を買い控えた家庭が約25%、ひとり親家庭では約47%となっている。

問 こども食堂などへの支援は考えないか。



問 申請していただくことなく資格確認書を交付する。

問 「こどもまんなか実行計画2024」の推進についてこの部署か。

答 主に健康福祉部と教育委員会が連携して担当しているが、庁内会議を設置し、アンケート調査の検討をしている。

問 策定のスケジュールについて聞きたい。

答 10月には素案を作成し、議会に報告、年末にパブリックコメントを実施する。

問 子どもの貧困の状況は。

答 就学前と小学生の保護者へのアンケートでは、1日3食食べられなかった家庭が約1%、ひとり親家庭では約7%。服や靴を買い控えた家庭が約25%、ひとり親家庭では約47%となっている。

問 こども食堂などへの支援は考えないか。

答 県や伊勢市社会福祉協議会の補助事業はある。市としても必要な支援を進めていきたい。

問 「子どもの権利条約」の市民への普及・啓発についてどのような施策を考えているか。

答 広報紙やホームページでの情報発信や、リーフレットの配布等、社会全体で共有できるように検討したい。

問 学校の先生への、子どもの権利条約に特化した研修が必要だと考えるが。

答 子どもを権利の主体者として中心に据えた授業研究、実践交流や意見交流を通して先生方の研修へとつなげている。

問 大阪・関西万博への子どもの参加について

問 大阪・関西万博への小学校の参加について聞きたい。

答 中学校5校で検討中だが、現時点で参加を決めているところはない。

議 会 日 誌

4月

- 4日。広報広聴検討分科会
- 16日。総務政策委員会管内行政視察
- 26日。議会運営委員会

5月

- 14日～16日。総務政策委員会管外行政視察
- 16日。議会ツアー
- 20日～22日。教育民生委員会管外行政視察

6月

- 22日～24日。産業建設委員会管外行政視察
- 29日。各派代表者会議
- 30日。議会ツアー
- 31日。議会ツアー

7月

- 3日。産業建設委員会
- 4日。教育民生委員会
- 5日。総務政策委員会
- 同協議会
- 同協議会
- 同協議会

- 10日。議会運営委員会
- 。全員協議会

- 11日。議会ツアー

- 14日。議会ツアー

- 17日。各派代表者会議

- 17日。6月定例会

- 17日。広報広聴検討分科会

- 27日。政策等検討分科会

- 27日。産業建設委員協議会

- 1日。総務政策委員協議会

- 3日。各派代表者会議

- 11日。各派代表者会議

- 16日。議会ツアー

- 16日。議員研修会

- 17日。広報広聴検討分科会

- 17日。議会ツアー



伊勢市議会本会議場

全国・東海市議会議長会で表彰

全国市議会議長会第100回定期総会および第107回東海市議会議長会定期総会において、永年地方自治の発展に尽くされた次の方が表彰を受けました。

全国・東海 特別表彰

議員在職25年以上

品川 幸久 前議長

全国・東海 一般表彰

議員在職10年以上

上村 和生 議員

北村 勝 議員

楠木 宏彦 議員

鈴木 豊司 議員

また、全国市議会議長

会国会对策委員会委員

および空き家・空き地問

題に関する特別委員会

委員として、運営に功

績があった次の方に感

謝状が贈呈されました。

品川 幸久 前議長

藤原 清史 議長



議員研修会を実施しました

市議会では議員の資質の向上を図るため、議員研修会を実施しています。

7月16日、講師の元公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構専務理事・山際洋氏から、『伊勢志摩観光の現状と展望について』をテーマにご教示をいただき、地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業等について、今後の議会活動に生かすための研修を行いました。



市議会の会派の紹介

令和6年7月3日付けで、会派の役員変更がありました。
また、同日付けで新会派「未来創成」が結成されました。

(令和6年7月3日現在)

会派名	議員名
勢風会 (4人)	幹事長 久保 真
	副幹事長 吉岡 勝裕
	会計 三野 泰嗣
	藤原 清史
志誠会 (3人)	幹事長 浜口 和久
	副幹事長 野口 佳子
	会計 井村 貴志
新政いせ (3人)	幹事長 上村 和生
	副幹事長 西山 則夫
	会計 宮崎 誠
絆 (3人)	幹事長 中村 功
	副幹事長 福井 輝夫
	会計 岡田 善行
未来創成 (3人)	幹事長 鈴木 豊司
	副幹事長 大西 要一
	会計 北村 勝
公明党 (2人)	幹事長 吉井 詩子
	副幹事長 辻 孝記

会派名	議員名
日本共産党 (2人)	幹事長 楠木 宏彦
	副幹事長 川口 浩
信貫 (1人)	幹事長 品川 幸久
政友会 (1人)	幹事長 宿 典泰
自由民主党 (1人)	幹事長 野崎 隆太

会派とは??

- 議員は、同一の理念を共有する他の議員と、議会活動を行うための政策集団として会派を結成することができます。会派は、政策の立案、決定、提言等において議論を尽くし、その意思を表明するとともに、会派間での合意形成に努めるものとしています。
- 会派は、政務活動費を有効に活用し、政策提言等に活かすよう積極的に市政に関する調査、研究その他の活動を行います。

令和5年度政務活動費の収支報告については12ページをご覧ください。

9月定例会は

9月9日～10月8日
の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

各種ご案内

6月定例会会議録

6月定例会の詳細は、「6月議会の会議録」をご覧ください。

会議録は、議会事務局、各総合支所、伊勢図書館、小俣図書館へ9月中旬に設置の予定です。
また、伊勢市議会ホームページでも公開します。

令和5年度 政務活動費収支報告

○政務活動費とは

議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派（所属議員が1人の場合を含む）に1人当たり月額3万円が交付されるものです。毎年度4月に交付され、年度末に残った金額は全額返還されます。

【令和5年4月～令和6年3月】

(単位：円)

会派 (人数)	交付額	支出内訳				支出合計	残額 (返還額)
		調査研究費	研修費	資料作成費	資料購入費		
勢風会 (7)	2,520,000	238,180	165,890	109,567	57,276	570,913	1,949,087
志誠会 (6→3)	1,890,000	344,800	124,290	85,056	217,429	771,575	1,118,425
新政いせ (3)	1,080,000	418,410	2,770	89,079	85,876	596,135	483,865
絆 (3)	270,000	0	148,920	97,537	14,850	261,307	8,693
公明党 (2)	720,000	54,060	385,580	24,358	77,488	541,486	178,514
日本共産党 (2)	720,000	0	87,670	5,241	173,272	266,183	453,817
信貫 (1)	360,000	0	0	4,549	0	4,549	355,451
政友会 (1)	360,000	0	0	40,445	78,246	118,691	241,309
自由民主党 (1)	360,000	42,960	261,110	44,540	0	348,610	11,390
合計	8,280,000	1,098,410	1,176,230	500,372	704,437	3,479,449	4,800,551

※広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、人件費、事務所費の支出はありませんでした。

※「志誠会」は、令和5年12月に会派人数が6人から3人に減少し、同日、新たに「絆」が結成されました。

【主な支出項目の内容】

調査研究費：会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に関する経費
(資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等)

研修費：会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
(講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等)

資料作成費：会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
(印刷製本費、翻訳料、事務機器購入、リース代等)

資料購入費：会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
(書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等)

【会派の構成】

勢風会					志誠会			新政いせ			絆			公明党		日本共産党		信貫	政友会	自由民主党		
吉岡	鈴木	三野	大西	久保	北村	藤原	浜口	野口	井村	上村	西山	宮崎	中村	福井	岡田	吉井	辻	楠木	川口	品川	宿典	野崎
勝裕	豊司	泰嗣	要一	真	勝	清史	和久	佳子	貴志	和生	則夫	誠	功	輝夫	善行	詩子	孝記	宏彦	浩	幸久	典泰	隆太

(令和6年3月31日現在)

令和5年度 各会派の（主な）視察研修実績

令和5年度 各会派の（主な）視察研修実績

会派名	実施日	研修項目<研修場所>
勢風会	5/24～5/25	日本自治創造学会第15回研究大会 <東京都千代田区>
	8/2～8/3	<ul style="list-style-type: none"> ◦GXについての勉強会 <東京都千代田区> ◦可燃ごみの有料化と戸別収集によるごみ削減の取り組み <神奈川県海老名市>
志誠会	7/28	議員力アップ研修 <東京都千代田区>
	10/16～10/18	<ul style="list-style-type: none"> ◦公設防犯カメラの設置にかかる取り組み <大阪府河内長野市> ◦ゼロ・ウェイスト宣言にかかる取り組み <徳島県上勝町> ◦アプリを利用した施策 <香川県三豊市>
絆	3/29	あなたの街を見える化する特別セミナー in 東京 <東京都千代田区>
	3/29	模擬議会質問研修 in 博多 <福岡県福岡市>
新政いせ	7/11～7/13	<ul style="list-style-type: none"> ◦A I乗合オンデマンド交通「のらざあ」 <長野県茅野市> ◦昭島市教育福祉総合センター「アキシマエンス」 <東京都昭島市> ◦スマートウェルネス推進事業 <静岡県三島市>
	11/7～11/9	<ul style="list-style-type: none"> ◦ビジネスサポートセンター事業 <香川県坂出市> ◦ペット同行避難所の試行実施 <山口県光市> ◦シティセールス推進への取り組み ◦コミュニティスクールへの取り組み <山口県山陽小野田市>
公明党	7/10～7/11	<ul style="list-style-type: none"> ◦日本防災士地方議員連絡会総会・研修会 <東京都千代田区> ◦鎌倉小町商店会 観光客へのごみ持ち帰りの推進方法 <神奈川県鎌倉市>
	9/2	令和5年度地域後見推進プロジェクトフォローアップ研修 <オンライン研修>
	11/9～11/10	第23期自治政策講座 in 東京Ⅱ 「議員力・議会力UPで自治を育む・地域を変える」 <オンライン研修>
	2/9～2/11	アメニティーフォーラム27 <滋賀県大津市>
日本共産党	8/2,7,10,19	第14回生活保護問題議員研修会 <オンライン研修>
	8/18	区画整理・再開発対策全国連絡会議 夏の自治体議員研修セミナー <東京都江東区>
	11/7～11/9	第65回市町村議会議員研修会 <オンライン研修>
自由民主党	5/8～5/11	<ul style="list-style-type: none"> ◦市町村議会議員特別セミナー <千葉県千葉市> ◦[学校]施設・サービスEXPO 他16件 <東京都江東区>
	6/16～6/17	東京国際消防防災展2023(FIRE-SAFETY TOKYO) <東京都江東区>
	2/15～2/16	<ul style="list-style-type: none"> ◦第33回国際MICEエキスポ <東京都千代田区> ◦第10回町工場見本市 <東京都千代田区>
	2/21～2/22	東かがわ市わくわく課の取り組み <香川県東かがわ市>

常任委員会が先進地視察を実施しました

総務政策委員会

視察日

令和6年5月14日（火）～16日（木）

視察先及び内容

- 千葉県船橋市 船橋市郷土資料館
「船橋市郷土資料館について」
- 東京都町田市
「自治体DXの取り組みについて」
- 埼玉県上里町
「一斉架電によるプッシュ型情報発信を利用した避難誘導について」



船橋市での視察の様子



町田市での視察の様子



上里町での視察の様子



詳細はこちらから

教育民生委員会

視察日

令和6年5月20日（月）～22日（水）

視察先及び内容

- 静岡県静岡市
「脱炭素先行地域づくり事業について」
「カーボンニュートラルの取り組みについて」
- 埼玉県戸田市
「戸田型オルタナティブプランについて」
- 東京都三鷹市 福祉Laboどんぐり山
「三鷹市福祉Laboどんぐり山について」
「高齢者福祉について」



静岡市での視察の様子



戸田市での視察の様子



三鷹市での視察の様子



詳細はこちらから

産業建設委員会

視察日

令和6年5月22日（水）～24日（金）

視察先及び内容

- 愛知県瀬戸市
「衛星画像を活用した漏水調査について」
- 長野県長野市
「獣害対策とジビエ加工センターについて」
- 長野県安曇野市 長野県水産試験場
- 長野県塩尻市 core 塩尻
「地域公共交通（自動運転バス）について」



瀬戸市での視察の様子



長野市での視察の様子



長野県水産試験場



塩尻市での視察の様子

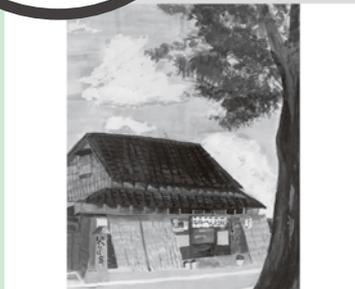


詳細はこちらから

表紙の題字

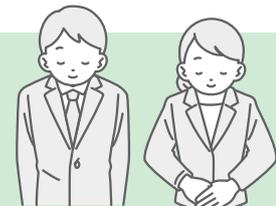


第76号
令和6年9月1日発行
いせ市議会だより



平成30年12月号から令和6年9月号にかけて、市内小学校を順番に回り、表紙の題字を募集してきました。たくさんの応募をいただき、令和6年9月号で全ての小学校を1周することができました。これまで募集に関わっていただいた全ての方々にお礼申し上げます。

令和6年12月号からは、募集方法を一部変更し「市内小学校の5年生」を対象に募集してまいります。



過去のいせ市議会だよりは
こちらからご覧いただけます。



表紙の題字は

みなと小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は坂田さんの「いせ」を採用しました。



将来の夢

私は、将来獣医師になりたいです。
そして、1匹でも多くの動物達の命を救いたいです。

(小学校5年生の時に書いたものです。)

みなと小学校6年 さかた 坂田 りあ 莉彩



「いせ市議会だより」の表紙写真を募集します

年4回(5月・9月・12月・2月)、市内の全世帯に届けられる「いせ市議会だより」の表紙をあなたの写真で飾ってみませんか。



◆募集する写真

市内で撮影された人物・名所・四季折々の風景・学校行事・地域行事・まつり等の写真。

◆応募方法

①住所、②氏名、③電話番号、④写真のタイトル、⑤撮影場所、⑥撮影日時、⑦写真に対する思いなどのコメント(あれば30字程度で)を記入のうえ、議会事務局へメールにて送付または記録媒体を持参してください。

※メールアドレスの場合は約2MBまでしか受信できませんのでご了承ください。

※ファイルサイズが大きく、メールで送付できない場合は、データ便等をご利用ください。

伊勢市議会事務局

住所：〒516-8601 伊勢市岩渕1丁目7番29号(伊勢市役所本館3階)

電話：0596-21-5630 メールアドレス：gikai@city.ise.mie.jp



表紙写真募集

◆応募の締め切り

随時受け付けをしますが、審査・校正・印刷に一定の時間が必要なため、発行月の概ね1ヵ月前までに応募いただいた分が、次号以降の審査対象となります。

応募条件、応募上の注意、選考方法等の詳細については「募集要領」をご覧ください。

問い合わせ先

伊勢市議会事務局(本館3階)

〒516-8601

伊勢市岩渕1丁目7番29号

☎ 0596-21-5630

FAX 0596-21-5631

✉ gikai@city.ise.mie.jp

編集

議会のあり方調査特別委員会

広報広聴検討分科会

会長 上村 和生

委員 井村 貴志

副会長 久保 真

野崎 隆太

野口 佳子

品川 幸久